





I. チーム医療とは/チーム医療と各医療専門職の役割

【番号】	【講義内容】			
N-1 	講義名	チーム医療における看護職の役割		
	目的	さまざまな医療現場におけるチーム医療と看護職が担っている役割について学びましょう。		
	概要	チーム医療とは、多種の医療専門職が連携し合って、治療や支援を行っていくことです。病院では、「栄養サポートチーム」や「緩和ケアチーム」など専門性に富んだチームが活躍しています。どのような活動をしているのか、具体例を挙げて紹介します。		
	担当	准教授 堀越 政孝 【専門】成人看護学	形式	講義
M-1 	講義名	感染症（新型コロナウイルス感染症など）におけるチーム医療の重要性		
	目的	感染症の検査診断・治療におけるチーム医療の重要性について学びましょう。		
	概要	新型コロナウイルス感染症を例にとり、特に感染症の検査診断と多職種連携の重要性についてわかりやすく概説します。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-2 	講義名	チーム医療概論 -チーム医療における各医療専門職の役割とは-		
	目的	チーム医療の中で活躍するさまざまな医療専門職の役割を学びましょう。		
	概要	医療はさまざまな医療専門職の連携によって支えられています。本講義は、チーム医療の中で各医療専門職がどのような役割を果たしているのかを学び、将来の進路選択に役立ててもらおう内容となっています。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
R-1 	講義名	医療専門職になるには（多職種連携とチーム医療）		
	目的	医療専門職の専門性とチーム医療連携について学びましょう。		
	概要	医療専門職を担う国家資格には、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、さまざまな専門資格があり、近年、高度な専門性と医療情報連携によって、患者さんを中心としたチーム医療のなかで活躍しています。これらの国家資格の特長と違いについて、医療専門職が連携と共働で行うチーム医療、医療情報連携の観点から解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-2 	講義名	チーム医療と診療放射線技師の役割		
	目的	1. 病院内でのチーム医療の大切さを理解しましょう。 2. 診療放射線技師の仕事内容を学びましょう。		
	概要	チーム医療とはなんだろう？ 診療放射線技師はどんな役割を担っているの？ 実際の医療現場の様子をわかりやすくお伝えします。		
	担当	講師 谷口 杏奈 【専門】放射線学、放射線画像解析学	形式	講義
C-1 	講義名	チーム医療と医療安全 -チーム医療における臨床工学技士の役割-		
	目的	1. チーム医療とは 2. 医療安全とは 3. 医療現場で活動している主なチーム 4. チーム医療に関わる職種 5. チーム医療における臨床工学技士の役割 6. チーム医療の実践と医療安全確保のために大切なこと		
	概要	患者さんへ安心・安全で最良の医療を提供するために欠かせないチーム医療において、医療機器の操作や管理を行う臨床工学技士がどのような役割を担っているのか、事例を挙げてわかりやすく解説します。		
	担当	教授 大瀧 和也 【専門】生体医工学、生体機能代行技術学	形式	講義
C-2 	講義名	ヒューマンファクター科学の分析が医療の質と安全向上に役立つ		
	目的	チーム医療と臨床工学技士の役割について学びましょう。		
	概要	患者さんの病気に対し臨床工学技士はどういう手順で診断・治療を担当するのかについて分かりやすくお話しします。高度医療が進み、加速度的に医療機器の複雑化、新たな機器操作の役割増加の中、臨床工学技士に求められる新たな役割として、医療の質と安全管理向上が重要となることを理解していただきます。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
P-1 	講義名	リハビリテーションはつらいものではありません -リハビリテーションの誤解を解いてチーム医療をめざす-		
	目的	つらいリハビリを経て復活した…これはリハビリテーションのとても小さな側面で誤解の原因になっています。リハビリテーションとは心地良く未来をめざすもので、チーム医療で行われるものです。誤解を解いてリハビリテーションのチームワークに触れましょう。		
	概要	リハビリテーションは「より良い状態にする」というのが本来の姿であり、決して我慢するものでも耐えるものでもありません。一人ひとりに合わせた「心地良い状態での体験を共有すること」がリハビリテーションです。リハビリテーションには受けた制限や制約に応じて、また人間の個性と生活にあわせて複数の専門職があります。一人ひとりの願いは多様なので、それに合わせるためにはリハビリテーションの専門職達がチームを組んで援助にあたる必要があります。それがチーム医療ですが、実践するにはいくつかの考え方が必要です。それは患者さん中心であること、それぞれの職種の内容を理解し尊重すること、忙しい中での正確なコミュニケーション、期間を決めて願いを実現することがあげられます。これらを実感できるように演習を交えてお話しいたします。		
	担当	教授 中 徹 【専門】小児理学療法	形式	講義、体験

II. 職業理解

【番号】	【講義内容】			
K-1 教	講義名	医療専門職にはどのような職種があるか？		
	目的	医療に関する各種国家資格について知りましょう。		
	概要	すべての学科で講義を行っている経験から、また卒業生の経験談をしばしば聞く経験から、医療関係の国家資格、特に本学で養成している各医療専門職の様子について詳しくお話しします。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
N-2 看	講義名	看護師になるための学校選び		
	目的	看護師になるための学校選択の目的・方法を理解しましょう。		
	概要	看護師になるには、さまざまな課程があります。課程の違いや、学校を選択するときに参考となる視点をわかりやすく説明します。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-3 看	講義名	看護学生の生活って？		
	目的	看護学生の4年間を知ることで、看護学生生活のイメージをつくりましょう。		
	概要	看護学生生活は忙しく厳しいというのが一般的な常識だが、どこがどのように厳しいといわれる所以なのかを知ってもらうことで、看護師という職業に就こうとする方の職業観の形成を図ります。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-4 看	講義名	看護師になってからのキャリア形成と認定制度		
	目的	看護師になってから、自らのキャリア形成を考えるきっかけをつくりましょう。		
	概要	医療の現場は日々進歩しています。その中で、看護職も社会からのニーズを受け生涯学習を必要とします。看護師・助産師・保健師となる道以外に、看護管理者・看護教員・認定看護師・専門看護師、特定行為の看護師など、看護師のキャリア形成を紹介します。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-5 看	講義名	看護って何？看護師になるためにどんな勉強をするの？		
	目的	1. 看護とは何か知ることができる 2. 看護師になるためのプロセスを知ることができる		
	概要	「看護とは」「看護師の活躍する場」「看護師になるための方法」「看護学生の学生生活」「どんな勉強をするのか」「看護学科を受験するにあたりやっておくと良いこと」を説明します。また、模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	准教授 金子 吉美 【専門】成人看護学	形式	講義、体験
N-6 看	講義名	手術室看護 —手術室看護師の仕事って何？—		
	目的	1. 手術室の環境、手術室看護師の役割について理解できる 2. 手術室看護師の仕事内容について理解できる		
	概要	手術を受ける患者さんを看護するのは病棟の看護師だけではありません。手術室にも看護師がいるのを知っていますか？手術室看護師はどのような環境で仕事を行い、どういった役割があるのか、またどのような流れで1日の仕事が行われているのかを解説します。また手術を受ける患者さんの気持ちを一緒に考えてみましょう。		
	担当	講師 小池 菜穂子 【専門】成人看護学	形式	講義
N-7 看	講義名	助産師の仕事 —助産師になりたい！助産師になるにはどうしたらいいの？—		
	目的	1. 助産師の仕事について知る 2. 助産師になるためのプロセスを知る 3. 大学での助産師課程の学修内容を知る		
	概要	「助産師とは」「助産師の活躍する場」「助産師になるための方法」「助産師学生の学生生活」「助産師学生はどんな勉強をするのか」「助産師になるために、今からやっておくと良いこと」を説明します。また、助産師課程の模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	教授 中島 久美子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義、体験
N-8 看	講義名	保健師の仕事 —保健師さんって知ってる？—		
	目的	保健師活動の内容と場所および進路選択の方法を学びましょう。		
	概要	保健師がどのような職業であるかを、活動内容と働く場から紹介し、希望する場合の進路について説明します。		
	担当	教授 廣田 幸子 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義
N-9 看	講義名	看護職の活躍する場は病院だけじゃない！こんなにも広がる活躍場面		
	目的	1. 看護師、保健師、助産師について 2. 看護職が活躍する場 3. 看護職になるための方法		
	概要	「看護」と聞くと、皆様がイメージするのは病院で働く「看護師」でしょうか。しかし、看護の仕事をする人は、「看護師」以外に「保健師」や「助産師」もいます。そして、看護職が活躍する場は病院だけではなく、皆様の身近なところでも活躍しています。看護職の活躍する場や看護職になるための方法について紹介します。		
	担当	講師 桐生 育恵 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義

M-3 	講義名	検査データの謎解きで病態を明らかにしよう！		
	目的	病院で働く臨床検査技師の仕事や役割を理解し、検査データと病態との関連性やデータを判読する重要性を学びましょう。		
	概要	患者さんの血液や尿には未だ知られない病態や数多くの情報が秘められています。臨床検査で異常データの原因を解明するのは、まさに推理小説の“謎解き”をするようなものです。講義では、実際の患者さんの検査データを謎解きし病態を明らかにしていきます。		
	担当	教授 藤田 清貴 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-4 	講義名	臨床検査技師ってどんな職種？		
	目的	臨床検査技師の業務、役割について学びましょう。		
	概要	主に病院などの医療現場で働く臨床検査技師の業務について、血液や尿を使って、どのような方法でそれらが検査されるのか、また直接患者さんに接して検査する心電図検査や手術で摘出された臓器をどのようにして検査するのかを示して、臨床検査技師の業務内容を理解して頂きます。		
	担当	教授 亀子 光明 【専門】病態生化学	形式	講義
M-5 	講義名	病理検査における臨床検査技師の役割		
	目的	病理検査の概要を理解し、標本の作製方法を学びましょう。		
	概要	がんを診断する方法にはMRI、CTなどの画像診断がありますが、最終的にがんと確定診断するためには、患者さんから摘出した組織材料による病理検査が必須です。病理検査に臨床検査技師がどのように関わっているか解説し、標本の作製方法についてわかりやすく説明します。		
	担当	講師 岡山 香里 【専門】病理学、病理検査学、細胞診断学	形式	講義
R-3 	講義名	診療放射線技師の役割とその教育について		
	目的	診療放射線技師の役割とその教育について学びましょう。		
	概要	放射線を人体に照射することのできる唯一の国家資格である診療放射線技師の役割とその専門性について解説します。また、診療放射線技師国家資格を取得するための、大学教育、大学院、専門職教育などについても言及します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-4 	講義名	診療放射線技師という職業		
	目的	診療放射線技師になるための学び、なってからの仕事について理解を深めましょう。		
	概要	診療放射線技師に適している人はどんな人でしょうか。大学で学ぶことや国家試験の内容とともに保健医療以外での役割について考えてみます。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義
R-5 	講義名	原発事故で果たした診療放射線技師の役割		
	目的	福島原発事故において診療放射線技師は放射線の専門家として多くの役割を果たしました。その役割を紹介することで診療放射線技師の持つ知識や技術を学びましょう。		
	概要	放射線の専門家として診療放射線技師が行った放射能汚染の有無を確認するための検査の実施、TVやラジオでの放射線影響などについての解説および避難所のレイアウトのアドバイス等を紹介し、これらの講義の中で放射線の安全と非安全について学ぶとともに診療放射線技師の持つ知識と技術や社会貢献について学びます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	講義
R-6 	講義名	法律とどう関わるべきかを学びましょう		
	目的	日本は法治国家である以上、社会人として法律を知ることの大切さや社会人としての法律との係り方、ひいては診療放射線技師や医療専門職の仕事や役割を学ぶ機会とすることが目的です。		
	概要	まず、法律の仕組みや診療放射線技師が国家資格者としてどのような法律を遵守して仕事をしているかを講義します。次に、放射線が医療に有効かつ安全に利用できるように診療放射線技師や医師が法律や社会ルール作りにもどのように貢献しているかを講義します。その後、社会人としてどのように法律に係っていくかを、身近な問題を取り上げて受講生同士で意見交換を行っていただきます。受講者はこの過程を経て法律とは何か、どのように係わるのか、あるいは係わるべきなのかを学んでいきます。また、この講義を通じて診療放射線技師や医療専門職の仕事の内容や役割も学ぶこともできます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	前半：講義、後半：グループワーク
R-7 	講義名	診療放射線技師の温故知新		
	目的	診療放射線技師の発展途上度を探りましょう。		
	概要	現在では、画像情報をより見やすくて確かな診断イメージとして画像再構成する診療放射線技師の力に依存する事が増えてきています。そこで、医療機器の進歩と隣り合わせの診療放射線部門の最新情報についてお話しいたします。		
	担当	准教授 小池 正行 【専門】放射線学、診療画像解析学	形式	講義
R-8 	講義名	がん治療の中の放射線		
	目的	がん治療における放射線の役割を理解し、がんについて学びましょう。		
	概要	2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死ぬといわれています。がん治療の基本は手術、抗がん剤、放射線が主に用いられています。このがん治療3本柱の一つである放射線治療について解説し、そこで働くいろいろな職業についても紹介します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義

C-3 	講義名	縁の下の力持ち－臨床工学技士の仕事－		
	目的	臨床工学技士の仕事への理解を深めましょう。		
	概要	臨床工学技士がどのような場所で活躍し、どのような仕事や役割を果たしているのか、また臨床工学技士になる方法について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-4 	講義名	診断・治療に必要な判断力は高校で学ぶ連続した知識が支える		
	目的	学修は「目的に向かいやり抜く力」を持つことで達成できることを理解しましょう。		
	概要	4年間の座学で生体をいろんな角度（科目）から分析、解析します。履修科目間での関連性を構築して臨床実習で実践技術習得を行い、目的とする臨床工学技士像を完成させる過程を分かりやすくお話します。やり抜く力とは、極めて長期にわたる目標に向けた情熱や持続力で、自らの将来にこだわることであり、その週だけとかその月だけではなく何年もの間一生懸命に取り組む、その夢を実現することを解説します。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
P-2 	講義名	ビリビリ・リハビリ－絶望を希望に変える理学療法学技術の開発－		
	目的	理学療法学は「治療医学でカバーできない人々の願いを叶えることを目指す技術を追求する」ということを理解しましょう。		
	概要	ある野球部の中学生がある日、突然倒れた。重い病に侵されていた彼の最後の望みを叶えるべく、若き理学療法士が挑戦したリハビリテーションの技術の応用とはビリビリ、電気刺激を用いることであった。果たしてこの挑戦はどうなったのか？実話に基づく物語風の講義、実際の技術のデモンストレーションを通して、リハビリテーション科学・理学療法学の現状を理解し、この分野に興味を持って、挑戦する若者に真の理学療法学技術の開発の姿を伝えます。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】臨床身体活動学	形式	講義、デモンストレーション
P-3 	講義名	理学療法士ってどんな職業？		
	目的	理学療法士という職業を理解しましょう。		
	概要	理学療法士とはどのような仕事をしているのか、どのような職場で働いているのか、どのような人が理学療法士に向いているのか、理学療法士になるためにはどのようにすればいいのか、など理学療法士について学びます。		
	担当	准教授 岡崎 大資 【専門】物理療法学	形式	講義
O-1 	講義名	作業療法士ってどんな仕事？		
	目的	1. 作業療法を知り、作業とは何かを学びます。 2. 作業療法士がどのような仕事をしているのか、どんなところで働いているのかを知り、作業療法の将来性を理解します。		
	概要	作業療法は、「人々の健康と幸福を促進するため作業に焦点を当てた治療、指導、援助」であるとされています。作業療法の専門性は、作業を通して何かをすることにあります。さて、作業とは一体何でしょうか。作業療法士はいろんなところで活躍しています。その魅力ある働きを知っていただきたいです。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義、体験
S-1 	講義名	言語聴覚障害とその支援		
	目的	障がい体験を通して言語聴覚障害への理解を深めます。		
	概要	さまざまな言語障害を言葉の鎖に位置付け、障害体験も含めて紹介します。支援の方法について具体的にお話します。		
	担当	教授 齊藤 吉人 【専門】言語聴覚療法	形式	講義、体験

Ⅲ. 大学での学び

【番号】	【講義内容】			
K-2 教	講義名	医療職の英語表現		
	目的	医療分野における英語学習の必要性について知り、医療職として使う英語の特徴を、授業を通して理解しましょう。		
	概要	医療の分野で使う英語表現をビデオやCDを通して学習し、その後ロールプレイをします。		
	担当	教授 杉田 雅子 【専門】英文学	形式	講義、グループワーク
K-3 教	講義名	解剖学的に靈魂を考える –身近に起こった不思議な出来事を解剖学的に考察–		
	目的	靈魂というものを解剖学的に考察し、科学的思考法を身に付けましょう。		
	概要	身近に起こった不思議な出来事を提示し、解剖学的に考察します。靈魂を見る、感じるということ、自分が死んで靈魂になった場合を想定し、それぞれを解剖学的に考えましょう。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-4 教	講義名	顕微鏡で見る人体の神秘		
	目的	光学顕微鏡でヒトの臓器・器官を観察するとどのように見えるか知ってもらいます。		
	概要	人の身体はたくさんの臓器・器官からできています。人体を構成する臓器の中からいくつか解説し、それぞれが光学顕微鏡で観察するとどのように見えるのか提示します。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-5 教	講義名	ヒトの表情ってどうやってできるの? –表情は筋肉がおこす運動である–		
	目的	表情というものがどのようなものか知りましょう。		
	概要	表情は顔面筋と呼ばれる筋群によって起こります。これら顔面筋について解説し、表情をつくるということが、実はストレッチなどが可能な運動であるということを知ってもらいます。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-6 教	講義名	簡単に覗ける内臓・・・口の中		
	目的	口の中は簡単に覗ける内臓であるということを理解しましょう。		
	概要	口の中には歯、舌、唾液腺、扁桃などさまざまな器官があります。これらの特徴・構造や簡単な観察方法について解説し、口の中の健康に興味を持ってもらいたいと思います。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-7 教	講義名	心理学入門 –高校時代に乗り越えるべき課題について–		
	目的	高校生（青年期）に特有の発達課題について知り、自らの課題について検討し、高校卒業後どのような進路を目指したいか考えましょう。		
	概要	エリクソンの発達理論を紹介し、中でも受講者の年代である青年期について焦点を当てます。青年期の発達課題である「アイデンティティの確立（自分とは何者か、将来何になりたいか）」VS「同一性の拡散（自分が何者かわからなくなったり、これからどうしたらいいかわからなくなったりする状態）」について触れ、自らの発達課題について検討しましょう。		
	担当	准教授 榎本 光邦 【専門】教養科目	形式	講義、体験
K-8 教	講義名	わたしたちのくらしを支える神経		
	目的	脳内には神経が作り出すさまざまな回路があり、我々の生活はその回路により成り立っていることを理解しましょう。		
	概要	神経細胞の構造について概説し、神経細胞で発生する活動電位発生機序、神経細胞同士の連絡(シナプス)について話します。また、感覚神経である求心性神経と運動神経である遠心性神経、それらが作り出す反射弓、さらに脊髄以上のレベルである大脳基底核や海馬における記憶の回路など、高次の神経回路について講義します。		
	担当	講師 洞口 貴弘 【専門】認知神経科学	形式	講義
K-9 教	講義名	英語でのプレゼンテーションスキルを磨きましょう！		
	目的	英語で効果的なプレゼンテーションを行うために、必要なスキルを学びましょう。		
	概要	英語でプレゼンを行わなければならない際は、どうすればいいでしょうか。ここでは、決まり文句などの表現から仕草などのボディランゲージまで、必要なスキルを網羅します。		
	担当	講師 アンドリュース デビッド 【専門】英語全般、翻訳・通訳	形式	講義、体験、グループワーク
N-10 看	講義名	10代の性の話		
	目的	高校生の性に関する悩みに答える正確な情報を提供します。		
	概要	月経、妊娠、避妊、性感染症などに関することは、高校生にとって身近で重大な悩みの種です。これらのことに対して正しい知識を持ち、かけがえのない10代の時期を充実したものにししましょう。		
	担当	教授 矢島 正栄 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義

N-11 看	講義名	母乳育児に関する学び入門		
	目的	母乳育児（乳汁分泌機序、母子の愛着形成・栄養・経済的側面などでのメリット・問題点など）について理解しましょう。		
	概要	皆さんは母乳、ミルク、混合のどの栄養法で育ちましたか？ 母乳育児（母子の愛着形成・免疫・経済的側面など）について一緒に考えてみましょう。また、乳汁分泌の機序、美味しい母乳（母乳の味、臭い）とは？母乳の飲ませ方、乳房トラブルなどについて学びます。ミルクについても触れます。「可能なら赤ちゃんが飲んでくれるミルクを飲んでもらいたい」と考えています。		
	担当	教授 早川 有子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク
N-12 看	講義名	自分のカラダは自分で守る -健康で明るい未来のために-		
	目的	自らの健康に目を向け、健康で明るく、充実した毎日を送るための知識を得ましょう。		
	概要	食事や睡眠など日常生活習慣に関連する健康問題と、その対策について説明します。		
	担当	教授 小林 亜由美 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義
N-13 看	講義名	フィジカルアセスメント -生きている証- 「体の音を聞いてみよう！」		
	目的	1. フィジカルアセスメントの方法について学ぶ。 2. 生命徴候であるバイタルサインを測定する技術について学ぶ。		
	概要	フィジカルアセスメントとは、身体的健康状態を観察・評価することです。フィジカルアセスメントの基本的技術について学び、バイタルサイン測定（体温、脈拍、呼吸、血圧、意識状態など）や聴診器を使用して心音、腸音など体の音を観察し、健康状態を査定します。		
	担当	教授 上星 浩子 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験
N-14 看	講義名	無意識に「こころ」を守る仕組み		
	目的	人には“「こころ」を守るために無意識に働く仕組み”があります。この講義では、その仕組みについて考えてみます。		
	概要	一般的に「偏見」は持つてはいけないもの、取り扱いにくいものとされています。しかし、実は自分の「こころ」を守るために必要なものなのです。講義では「偏見」というキーワードから無意識に「こころ」を守るために働く仕組みを説明していきます。そして、「死」を受け入れざるを得ない状況にある人の「こころのプロセス」と「各段階で無意識に働く仕組み」にまで発展していきます。最後に患者さんにとって必要な「こころのケア」とは「何か」を一緒に考えてみたいと思います。		
	担当	教授 西川 薫 【専門】精神看護学	形式	講義、グループワーク
N-15 看	講義名	思春期における心身の健康について		
	目的	思春期における自身の健康課題に気づき、マンダラード（目標達成シート）をもとにして、より充実した日常生活を過ごせるよう考えてみましょう。		
	概要	思春期における心身の健康状態、疾病傾向等の特徴について紹介します。現在の自身の心身の健康課題に気づき、将来の進路や夢を実現すべく、マンダラード（目標達成シート）をもとに心身共により充実した日常生活が過ごせるよう考えていきます。		
	担当	教授 中下 富子 【専門】小児看護学	形式	講義、演習
N-16 看	講義名	乳がんのことをもっと知ろう！		
	目的	1. 乳がんとはどのような病気なのか説明することができる。 2. 乳がんを早期発見するための方法を実施することができる。 3. 乳がん患者の体験を通して看護師の役割を述べることができる。		
	概要	乳がん罹患する女性は年々増加しています。乳がんとはいったいどんな病気なのでしょう？乳がん診断された方々はどのような体験をしているのでしょうか？本講義では、みなさんに是非知っておいて欲しい、乳がんの正しい基礎知識、早期発見のコツについて、体験も交えて解説します。また、乳がん診断された方々の体験を通して、看護師の役割とは何かを一緒に考えてみましょう。		
	担当	教授 萩原 英子 【専門】成人看護学	形式	講義、体験
N-17 看	講義名	妊娠中からの子育て支援 -あなたが将来、子どもを妊娠したら？-		
	目的	妊娠中からの胎児と母親との絆（きずな）をはぐくむ子育て支援、子ども虐待予防について学びましょう。また、赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さを体験し、親の気持ちについて理解しましょう。		
	概要	1. 子ども虐待の実態と妊娠中からの早期発見・早期ケアについて学びます。 2. 赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さや親の気持ちを理解します。 3. 将来、子どもを妊娠したら？体験を通しての考えをグループ・ディスカッションします。		
	担当	教授 中島 久美子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク、DVD
N-18 看	講義名	消化と吸収のしくみを学ぼう -看護の知恵袋-		
	目的	消化管の機能と生理を理解し、消化と吸収について学びます。		
	概要	消化と吸収は、私たちが生きていく上で欠かせないプロセスです。消化吸収の仕組みを知り、その機能を促進するための工夫ができれば、もっと楽しく食事ができます。そして、病気を予防することにもつながります。ちょっとした豆知識を添えて看護の視点も紹介します。		
	担当	准教授 堀越 政孝 【専門】成人看護学	形式	講義、体験

N-19 	講義名	看護を学ぶ学校で学ぶこと		
	目的	看護系の大学や専門学校で学ぶ内容を基礎看護技術の一つを例に挙げ、参加型授業で学びましょう。		
	概要	基礎看護技術の「体温測定」「脈拍測定」の測定部位と人体の構造と機能と結び付けて、ミニ模擬授業として学びましょう。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験（体温計とストップウォッチ）
N-20 	講義名	医療職への第一歩「手洗い」方法、知っていますか？正しい手洗いをやってみよう！		
	目的	感染予防の基本である手指衛生の目的・種類・留意事項を理解し、その方法を習得しましょう。		
	概要	【前半：講義】手指衛生の目的・種類・留意事項を講義にて学びます。 【後半：体験】普段の手洗いの洗浄度を「汚れローション」と「ブラックライト」を用いて検証し、正しい手洗いを体験しましょう。		
	担当	講師 佐藤 晶子 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験（対象人数：20人程度） 手洗い場が複数あり、日当たりの良すぎない教室
N-21 	講義名	高齢者が手術を受けること ー何歳まで手術は受けられるのだろうかー		
	目的	高齢者が手術を受ける際のリスクについて理解しましょう。		
	概要	高齢者が手術を受ける際に問題となる術後合併症について学び、高齢者が手術を受けることの大変さについて理解しましょう。		
	担当	講師 星野 泰栄 【専門】老年看護学	形式	講義
N-22 	講義名	近代看護の祖 フローレンス・ナイチンゲールを知っていますか？		
	目的	看護理論の源流といわれる看護理論とその背景を学び、看護を理解しましょう。		
	概要	ナイチンゲールの活動と功績について歴史を紐解きながら解説します。 また、ナイチンゲールの著書から、看護とはどのようなものであるかを考察していきます。		
	担当	講師 堀込 由紀 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-23 	講義名	天使になった子どもからのメッセージ ー奇跡を生きている皆さんへー		
	目的	自分自身の「死生観」に気づき、「命の重み」に向き合ってみましょう。		
	概要	病や事故によって生きることができなかった子ども、その命を支えた家族・教師・友人の実話から、今、「生きている」ことの奇跡、命の重みを共に向き合い考える時間とします。		
	担当	講師 内山 かおる 【専門】小児看護学	形式	講義、体験、グループワーク
N-24 	講義名	子どもは大人のミニチュアではありません ー大人になるプロセスを考えるー		
	目的	子どもに関心を持ち、かつて自分も子どもだった事を思い起こし、大人になるということはどういうことを考えましょう。		
	概要	子どもの解剖生理学、心理的特徴から成長発達に必要な条件を講義します。また、子どもの病や事故などの特徴を事例を用いて伝えます。受講者自身が唯一の個として「大人になるとは」について思考できるような講義を目指します。		
	担当	講師 内山 かおる 【専門】小児看護学	形式	講義、体験、グループワーク
N-25 	講義名	五感を使って感じてみよう！高齢者の疑似体験！		
	目的	世代間の異なる者たちが、自身の五感を使って加齢による身体的・心理的・社会的変化を疑似体験することにより、高齢者の特徴を理解しましょう。		
	概要	高齢者疑似体験の装具（特殊ゴーグル・ヘッドホーン・手足の重り・肘、膝のサポーターなど）を装着して、日常生活動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的な変化（筋力、視力、聴力などの低下）を知り、高齢者の気持ちや介助方法、高齢者とのコミュニケーションの取り方を体験的に学ぶことができます。		
	担当	講師 清水 美和子 【専門】老年看護学、在宅看護学	形式	講義、体験、グループワーク
M-6 	講義名	免疫学入門 ー体を守る免疫のしくみー		
	目的	自己と非自己の細胞をどのように認識しながら、ウイルス感染細胞やガン細胞を攻撃し体を守っているのか、免疫の基本的な仕組みを理解しましょう。		
	概要	免疫学入門として、体を守る免疫の仕組みやAIDSなどの感染症、アレルギー、自己免疫疾患などの病気と発生機序についてイラスト中心に分かりやすく解説します。		
	担当	教授 藤田 清貴 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-7 	講義名	人体を創り出す、遺伝子のメカニズム		
	目的	ヒトの卵子が受精して、どうして人体を創り出すのかを理解しましょう。		
	概要	ヒトの卵子が受精すると分裂を繰り返し、血液や筋肉、神経や骨など異なる細胞になり人体を創り出します。異なる機能を発揮する細胞は、特定の遺伝子のみを発現し他の遺伝子の発現を抑制します。このメカニズムはなにか？を解説します。		
	担当	教授 長田 誠 【専門】遺伝子検査学	形式	講義

M-8 	講義名	遺伝子関連検査って何？		
	目的	遺伝子診断、遺伝子治療、再生医療、個別医療、これら遺伝子に関連する疾患と検査技術について学びましょう。		
	概要	遺伝子関連検査は、「個人個人の遺伝子が異なり、それは親から受け継がれ、生涯変わらない。」事を利用して実施されています。病気の診断、お薬の副作用や個人識別などの他、感染症の検査にも利用されています。遺伝子関連検査について、詳しく解説します。		
	担当	教授 長田 誠 【専門】遺伝子検査学	形式	講義
M-9 	講義名	健康食品って何だろう？		
	目的	健康食品の正しい使い方を学びましょう。		
	概要	サプリメントとして多くの健康食品が販売され手軽に食品として購入することができます。しかし、食品と言いつつ、実際には薬物と同じ成分が微量ですが含まれております。そのため、多量に服用すると身体には害となることがあります。正しい摂取方法を解説したいと思います。		
	担当	教授 亀子 光明 【専門】病態生化学	形式	講義
M-10 	講義名	貧血って何？ ー貧血の予防と健康な身体づくりのためにー		
	目的	貧血の原因や種類を知り、食事などで予防できる貧血について理解しましょう。		
	概要	血液に含まれる赤血球は全身に酸素を運ぶ重要な役割をもっています。その役割を担っているのがヘモグロビンで、その濃度が基準値以下に低下した状態を貧血といいます。ヘモグロビンが身体の中でつくられる仕組みや異常値を示す原因を説明し、鉄欠乏性貧血など食事のできる予防法を解説します。		
	担当	教授 小河原 はつ江 【専門】病態血液検査学	形式	講義
M-11 	講義名	白血球とは？身体を守る戦士たちの顔		
	目的	白血球の多彩な役割を考えましょう。		
	概要	末梢血中に存在する白血球は好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球と5種類の細胞に分類されます。白血球を観察する方法や顕微鏡でみるとどのようにみえるのか紹介し、それぞれの役割について説明します。		
	担当	教授 小河原 はつ江 【専門】病態血液検査学	形式	講義
M-12 	講義名	感染症の基礎知識と予防法（インフルエンザやノロウイルス感染症など）		
	目的	感染症の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の基礎知識と予防法に関する講演を行います。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-13 	講義名	わかりやすい感染症の原因解析法		
	目的	感染症の原因解析法の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の原因解析法についてわかりやすく解説します。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-14 	講義名	PCR検査とは？		
	目的	新型コロナウイルス感染症の検査について理解しましょう。		
	概要	新型コロナウイルス感染症の検査について解説します。話題のPCR検査から抗体検査など…他のウイルスの例も挙げながら説明していきます。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-15 	講義名	免疫薬理学 ー有機化学と免疫制御薬ー		
	目的	高校化学で学ぶ有機化学の知識を踏まえて免疫力を制御する薬の仕組みを学びましょう。		
	概要	解熱剤やステロイド剤などは、人体の免疫システムを制御する薬です。本講義では、薬学に興味をもつ方を対象に免疫制御剤の仕組みを、高校化学にもとづいてわかりやすく説明します。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-16 	講義名	受精の仕組み		
	目的	生命体の最初である受精を中心に学びましょう。		
	概要	精子や卵子のできる仕組みや受精について、減数分裂や受精におけるハードルについて紹介します。		
	担当	講師 荒木 泰行 【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義

M-17 	講義名	生殖補助医療とは？		
	目的	不妊治療に代表される体外受精等の技術について学びましょう。		
	概要	少しの不具合で受精が上手くいかず、不妊になることも少なくありません。これらを治療する分野を生殖補助医療といいます。とりわけ体外受精についての基礎的な知識を紹介します。		
	担当	講師 荒木 泰行 【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義
M-18 	講義名	がん細胞の発生とその診断		
	目的	がん細胞の発生要因を理解し、検査の種類とがんの診断までの流れを学びましょう。		
	概要	日本人の死因の第1位は悪性新生物（がん）です。がんのことをより理解するために、がんの発生に関与する細胞周期、がんに関わる医療専門職と検査項目についてわかりやすく解説します。また、がん細胞の定義やその形態学的特徴についても詳しく説明します。		
	担当	講師 岡山 香里 【専門】病理学、病理検査学、細胞診断学	形式	講義
M-19 	講義名	一滴の血液から病気の目印を探すーバイオマーカー探索研究の最前線ー		
	目的	病気の早期発見などに役立つ新しいバイオマーカーを開発するために、どのような研究が行われているかについて学びましょう。		
	概要	ごく微量の血液から一度に数千種ものタンパク質を検出できる「質量分析計」を用いて、疾患の早期発見を可能とする、新たなバイオマーカー候補分子の探索が盛んに進められています。これらの研究について、最新の事例を交えながら解説します。		
	担当	講師 木村 鮎子 【専門】病態医化学	形式	講義
M-20 	講義名	生化学入門		
	目的	生命や病気のしくみを分子レベルで理解する「生化学」について学びましょう。		
	概要	複雑な生命現象や病態のメカニズムを理解する上で、「生化学」は欠かすことのできない学問であり、医療系大学の学生にとっても必修科目となっています。その内容を理解する上では、高校化学の授業で習得する知識が基礎となります。ここでは、大学の「生化学」の授業の内容について、先取りして学びます。		
	担当	講師 木村 鮎子 【専門】病態医化学	形式	講義
M-21 	講義名	意外と知らない血液型と輸血の話		
	目的	なぜ血液型という分類があるの？その必要性や重要性、さらには“黄金の血液型”と呼ばれる血液型まで、知っていそうで意外と知らない血液型について学びましょう。		
	概要	1. 血液型を決めているのは何か？ 2. ABO以外の血液型って？ 3. 輸血に必要な検査って何だろう？ 4. 輸血で血液型が変わる？ 5. 輸血が必要かを決めるのは医師。輸血できるかを決めるのは「臨床検査技師」って知ってた？		
	担当	講師 林 由里子 【専門】輸血検査学	形式	講義
M-22 	講義名	忍び寄る糖尿病		
	目的	糖尿病と食事の関係について学びましょう。		
	概要	生活習慣病の一つである糖尿病は、日本人にとって実は身近でひとつごとではない病気です。普段の食生活と大きく関係している糖尿病について学んでいきましょう。		
	担当	講師 石垣 宏尚 【専門】内分泌検査学	形式	講義
R-9 	講義名	インターネットと健康情報		
	目的	インターネットで流通する健康情報について学びましょう。		
	概要	インターネット（Web、SNS、E-mailなど）で流通する医療情報には、有益な情報もあるが、信頼性の低い偽情報や虚偽の内容が含まれます。特に健康情報は、人々の生活に直接影響を及ぼすため、誤った認識は、重大な影響を及ぼします。医療情報、健康情報に関するインターネットの光と影について説明し、更にインターネット情報を用いた人工知能技術（AI）の活用について解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-10 	講義名	放射線の性質		
	目的	無用な放射線被ばくを防ぐための知識と技術を習得しましょう。		
	概要	放射線の種類と性質、被ばくの影響を理解して、無用な被ばくを避ける方法を考えましょう。物陰に隠れたり逃げたりすることで、放射線量の減り方はどう違うかを実験で確かめます。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義、体験
R-11 	講義名	放射線治療		
	目的	放射線治療と手術や化学療法などによるがん治療法との違いを理解しましょう。		
	概要	まずはがん治療って何がどうなればいいのか、というところから考えてみましょう。そのうえで、治療に使う放射線の特徴や放射線を照射する方法からメリットを検討します。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義

R-12 医	講義名	放射性物質を使った検査って大丈夫なの？		
	目的	病院で行っている放射線検査の一つである放射性物質を使った核医学検査の有用性や安全性を学びましょう。		
	概要	放射性物質は福島原発事故などによって人体に悪影響を及ぼすものと理解している方も多いと思います。しかし、放射性物質は使い方によっては認知症の早期発見やがんの治療に役立っていることを紹介します。この講義を経て有害とされる物質の安全と非安全の違いに対する考え方について学んでいただきます。また、診療放射線技師の仕事も学ぶことができます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	講義
R-13 医	講義名	光学活性医薬品とは何か？		
	目的	現代の医薬品種の傾向と開発手法の最先端を学びましょう。		
	概要	現代の医薬品はその分子構造が複雑化しています。特に光学活性（鏡像）異性体が重要視され、各医薬品メーカーはそれらの製法開発に力を注いでいます。ここでは、その開発物語を紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-14 医	講義名	化学を科学する！！		
	目的	医薬品製造法開発における化学とそれを支える科学的なアプローチを学びましょう。		
	概要	近代医薬品には立体化学的なアプローチが重要であり、化学的だけでなく科学的な角度から解析しつつ製法を完成していった生薬の開発ストーリーを紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-15 医	講義名	世界に誇る日本の医用画像の技術		
	目的	CTなど今や医療の中で欠かすことのできない画像診断機器に焦点を当て、日本の技術力の高さについて理解を深めましょう。		
	概要	X線CT装置を創る国は世界中で多くはありません。CTの設置台数が世界一（対人口当たり）の日本の現状、日本のどこで作られるのか、どんな構造なのかを解説します。		
	担当	准教授 加藤 英樹 【専門】医用画像情報学、放射線技術科学	形式	講義
R-16 医	講義名	もっと知りたいMRI		
	目的	MRIの基礎的な特長から理解を深めましょう。		
	概要	病院の中でさまざまな医療機器が存在する中、最新の画像診断装置であるMRIの基礎的な話ができればと思います。特に放射線と同じく目に見えない高磁場の安全管理、電波の安全管理について説明します。GE HealthCareからの安全管理スライドをもとに解説します。		
	担当	准教授 小池 正行 【専門】放射線学、診療画像解析学	形式	講義
R-17 医	講義名	病院の中の放射線		
	目的	病院の中で使われている放射線を学びましょう。		
	概要	医療現場ではさまざまな場所で放射線が用いられています。現代医療では放射線なくしては成り立たないともいわれています。病院で使われている放射線について解説します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義
R-18 医	講義名	放射線は怖くない		
	目的	放射線の正しい知識を学び、放射線は怖いものではないことを理解しましょう。		
	概要	東日本大震災における福島原発の事故により、放射線は怖いものという先入観が生まれています。震災当時の放射線の状況を交えながら、放射線についてわかりやすく解説し、正しい知識を持てば放射線は怖くないことを解説します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義
R-19 医	講義名	画像診断装置の過去と未来		
	目的	1895年のレントゲン博士によるX線の発見から今日に至るまで画像診断装置が脚光を浴びています。これまで装置を振り返ることで新しい診断装置の未来が見えてくるでしょう。		
	概要	X線は人工放射線です。X線発生装置の変遷を電気工学の視点から考える今日の画像診断では、放射線を使用しない検査機器もあります。そこで、これからどのような診断装置が市場に投入されるかを一緒に考えましょう。		
	担当	准教授 齋藤 祐樹 【専門】診療画像解析学、診療画像機器学	形式	講義
C-5 医	講義名	高地で経験できる様々な変化		
	目的	海拔ゼロから標高4200メートルまでを往復することで経験できる「低酸素」による体調の変化や、風景の変化などについて学びましょう。		
	概要	10年間にわたるハワイ島マウナケア山頂でのエンジニア経験から、低酸素による体調の変化や風景の変化、昼間にしか見られない風景、夜にしか見られない風景など、標高が高くなるにつれて経験・観察できるさまざまな変化について解説します。		
	担当	教授 瀧浦 晃基 【専門】医用生体工学	形式	講義

C-6 医	講義名	血液をキレイにする医療技術		
	目的	医学と工学の発展によりさまざまな疾患の治療を可能にした技術を知りましょう。		
	概要	血液を浄化する治療法に焦点をあて、血液浄化とは何か、血液浄化が必要な疾患や治療原理、最新の治療技術について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-7 医	講義名	命をつなぐ人工呼吸器		
	目的	人工呼吸器のしくみ、目的と役割を知りましょう。		
	概要	人工呼吸器が必要となる状況や疾患、人工呼吸器の目的・役割について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-8 医	講義名	はたらき続ける心臓の動きを止められるの？		
	目的	心臓の動きを止め、再び動かすことを可能にした心筋保護法を学びましょう。		
	概要	はじめに、心臓の働きについて理解していただきます。約半世紀前より研究し続けてきた心臓外科領域の理想は、自在に心臓の動きを停止、再拍動させることができ、大きな細胞障害も残らない仕組みの確立でした。心筋細胞収縮の仕組みである、細胞の活動電位の成り立ちを応用することにとどり着いた経緯について解説します。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
P-4 リ	講義名	発達のふしぎーリハビリテーションのたねあかしー		
	目的	発達でおきる事実を知り、発達の持つすばらしい力を理解しましょう。また、リハビリテーションで使われている発達のカも知りましょう。		
	概要	すべての方に起きてきた発達の事実をまず振り返ります。みなさんは物心がつく前に、何もできない状態から発達して歩くことや走ることができるようになりました。みなさんはその時の感激を覚えていません。発達は、誰にも教わったこともないのにできてしまうという「すごいこと」なのですが、まったくそのことを覚えていないというふしぎな現象です。ふしぎさには何か仕組みがあるはずですが、その仕組みはリハビリテーションのたねあかしになるのですが、いくつかの体験実習を交えて考えていきます。		
	担当	教授 中 徹 【専門】発達障害科学	形式	講義、体験
P-5 リ	講義名	健康の寿命に関わる人の動き方を科学する		
	目的	人が健康でいられる時間（健康寿命）を身体活動という人間の動きの特徴を人工知能を用いて可視化する研究のあらましを紹介しします。		
	概要	人が健康でいられる時間（健康寿命）の予測を行うために役立つと考えられる人間の動きの特徴を明らかにする研究を紹介しします。その中で、人工知能を用いて人が動いていることを情報化して、可視化する研究の一端を、実際に人の動きを撮影し、速やかに人体モデルを可視化して、アバターを作成するプロセスを体験することで先端の研究に触れる機会を提供します。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】公衆衛生学、理学療法学	形式	講義、体験
P-6 リ	講義名	いやな肩こりを何とかしよう		
	目的	誰もが経験する肩こりを通して正しい姿勢の重要性を知りましょう。		
	概要	肩こりをおこす原因、そのメカニズムを簡単に解説し、その予防法および自分でできるストレッチ体操を紹介しします。		
	担当	教授 鈴木 学 【専門】神経系理学療法、評価治療学	形式	講義、実技
P-7 リ	講義名	自分で触ってわかる、骨と筋肉		
	目的	自分で触診して、自分の骨と筋肉を鑑別しましょう。		
	概要	自分の体を自分で触る事により、筋、骨、靭帯、腱、血管などがわかることを理解してもらいます。		
	担当	准教授 目黒 力 【専門】生活環境学	形式	講義（動きやすい服装）
P-8 リ	講義名	まちで暮らすためのリハビリテーション		
	目的	学校やまちなどからバリアフリーを考えてみましょう。		
	概要	大学の講義で行っている「まちめぐり」の資料から、まちにあるバリアや改善対策、理学療法士がどのように関わるのかを考えましょう。		
	担当	准教授 目黒 力 【専門】生活環境学	形式	講義、体験
P-9 リ	講義名	脳卒中の基礎知識ー病態・症状・画像診断・治療についてー		
	目的	リハビリテーションの重要な対象疾患である脳卒中についての理解を深めましょう。		
	概要	脳卒中の病態、症状、画像診断、治療などの基本的な知識を説明しします。		
	担当	准教授 宗宮 真 【専門】リハビリテーション医学	形式	講義

P-10 U	講義名	「足は口ほどにものを言う」 足の働きを姿勢と動作の関連から実技を交え話します		
	目的	姿勢と運動における足の役割を理解しましょう。		
	概要	人の足は、からだを支える土台となり姿勢や運動を調節するはたらきを持っています。この身体全体の動きや関節のしくみや運動を学ぶ「運動学」の内容から、特に姿勢と足の働きについて分かりやすく概説します。スポーツで怪我をした経験のある方は、ご自身の身体の特徴や動きに興味を持っていらっしゃると思いますので、関連づけてお話しします。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】運動学、高齢者理学療法	形式	講義、体験
P-11 U	講義名	最近話題の認知症予防を目的としたコグニサイズの紹介と実践		
	目的	認知症について正しく理解し、理学療法士の職業についても理解しましょう。		
	概要	コグニサイズは、認知課題と運動課題を組み合わせた最近話題のプログラムです。生涯健康に過ごせるよう体験を交えて紹介します。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】高齢者理学療法、運動学	形式	講義
P-12 U	講義名	スポーツ傷害と理学療法		
	目的	スポーツ傷害という分野から理学療法の定義を理解しましょう。		
	概要	スポーツ傷害と理学療法の関わり、ストレッチング、モビライゼーション、PNF、テーピングの実技を予定しています。		
	担当	講師 城下 貴司 【専門】スポーツ科学	形式	講義、体験
P-13 U	講義名	まわりと自分を知るための手がかり —感覚情報について—		
	目的	外界の状況および自身の状況を知るために用いられる感覚情報について理解しましょう。		
	概要	自分の身体が今どういう状況にあるのか、また周囲の環境と自分との関係を知るために用いられる感覚情報について、その生理学的知識を簡単な遊びを交えて説明します。自分の身体の仕組みの不思議さや面白さについて知り、興味をもつきっかけづくりを目指します。		
	担当	講師 黒川 望 【専門】神経生理学	形式	講義
P-14 U	講義名	目で見えない筋肉の働き方を見る化する		
	目的	人の体の動きを作る筋肉の働き方、その意味を理解しましょう。		
	概要	さまざまな動きは、筋肉の働き（筋活動）によって作られます。目では見えない筋肉の活動を見る化する表面筋電図を使って、その性質を探る実技形式の講義を行います。同じスポーツでも、初心者とオリンピック選手ではどのように違うのか？運動がごこちない、運動に障害を抱えた人達の筋肉の動き方は何が違うのか？を理解するために、さまざまな動きを行なった時の筋活動を測定して、考えていきましょう。		
	担当	講師 橋口 優 【専門】神経生理学	形式	講義、体験
P-15 U	講義名	ヒトはどこまで動物か		
	目的	動物としてのヒトの特徴を考えます。特にヒト以外の霊長類とヒトの類似点と相違点や、ヒトの進化史に注目して比較しながら考えます。		
	概要	ヒトはまるで他の動物とは一線を画す生き物のように振る舞っています。しかし、本当にヒトは特別なのでしょうか。類人猿やサルなどのヒトの親類との比較などから、動物としてのヒトの特徴を考えます。そうすると、ヒトは決して特別な生き物ではなく、他の生物と同じ進化原理にしたがって生じた動物であることがわかってきます。その点から改めてヒトのことを考えてみると興味深いと思います。		
	担当	講師 後藤 遼佑 【専門】生物人類学	形式	講義
O-2 U	講義名	私らしい生き方、私の進路を考える —作業療法学の応用—		
	目的	作業療法の理論を使って、自分らしい生き方、自分らしい生活、そして自分の進路を考えてみます。		
	概要	自分らしい生き方とは何でしょうか。多くの人は自分らしく生きる大切さを知っています。けれど、自分らしいということを説明するのは、なかなか難しいものです。私たちが自分の生き方を考えるとき、この先の進路を考えるとき、とても重要です。自分らしさを考えてみませんか。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義、体験
O-3 U	講義名	リハビリテーションで幸せのメカニズムを学び、夢をかなえる		
	目的	AIやロボットが当たり前になる時は、もうそこまで来ています。そんな時代に幸せな生活や夢をどう考えるのか学びます。		
	概要	障害の有無に限らず、人は自分らしい生活を探りながら、豊かな人生を送ることを大切に考えることのできる時代になりました。そのため、ロボットや人工知能テクノロジーなどの最新の知識や技術を活用することが今後一層増えていきます。子どもからお年寄りまで、すべてのライフステージで、健康増進をめざすリハビリテーション、生活の質を支えるリハビリテーションを知っていただきたい。ご自身の幸せを考えてみませんか。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義

O-4 リ	講義名	人生100年時代 人生設計を立てる・みなおす 作業療法学の応用		
	目的	作業療法学では「自分らしさ」を追求する方法を学びます。これを応用して生活の見直し、あるいは、この先の進路を考えます。		
	概要	自分らしい生き方とは何でしょうか。多くの方は自分らしく生きる大切さを知っています。しかし、自分らしいということを説明するのは、なかなか難しいものです。私たちが自分の生き方を考えるとき、この先の進路を考えるとき、とても重要です。「自分らしさ」を考えてみませんか。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	体験
O-5 リ	講義名	資料から読み解くワクワクする作業療法の未来		
	目的	作業療法士はまだ不足といわれ、求人数は大変多いです。なぜ作業療法士は不足なのか、データから作業療法の未来を示します。		
	概要	さまざまなデータから、作業療法の現状・問題点、そして未来予測、輝かしいと考える理由を示します。ワクワクした輝かしい作業療法の未来をお話します。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、作業療法理論、老年学	形式	講義
O-6 リ	講義名	作業療法を哲学的に見ると		
	目的	「作業療法の哲学」という論文を発表した精神科医A マイヤーが示した作業療法の考えを日本の哲学者西田幾多郎に即して解説します。		
	概要	わが国の作業療法はアメリカの作業療法の影響を受けています。その中でも精神科医A マイヤーは「作業療法の哲学(The philosophy of Occupation)」を著し、創設期の作業療法を支えたとされています。本講義ではこの論文のキーワードともいべきリアリティとアクチュアリティを読み解くことによって、作業療法とは何かについてお話します。		
	担当	教授 石井 良和 【専門】精神作業療法学	形式	講義
O-7 リ	講義名	認知症の人にやさしい町づくり ー忘れるって、どういうことー		
	目的	作業療法の見方を使って、認知症の人と家族を支える方法を考えます。		
	概要	認知症のこと、分かっているようで知らないことが多いかもしれません。認知症の人がより良く生きること、それを支えるためには、どのように考えるとよいのでしょうか。現在、認知症の人と、その方々を支える家族が急増しています。みんなで支えるために、認知症のこと、一緒に考えてみましょう。		
	担当	教授 竹原 敦 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義
O-8 リ	講義名	「その人らしさの支援」とロボット・テクノロジーの交差点 ー作業療法の可能化ー		
	目的	先端的リハビリテーション機器を知り、その人らしさを支援する作業療法のテクニックを学ぶ、そして医療と福祉の未来をともに考えてみましょう。		
	概要	先進的リハビリテーション機器についての説明後に、その技術をどのようにリハビリテーションへ取り入れるかを作業療法の理論と合わせて、実践事例を用いながら解説していきます。まとめに、これからの未来の医療・福祉について、ディスカッションを行います。		
	担当	教授 南 征吾 【専門】作業療法学、人間工医学	形式	講義、グループワーク
O-9 リ	講義名	人はなぜ遊ばずにはいられないのか？		
	目的	遊びが人にもたらす効果を科学的に分析します。子どもの遊びと大人の遊びの違い、ライフステージに沿って変化する遊びを考えます。		
	概要	人は生まれてから亡くなるまで遊び続けます。いくつになっても遊びには夢中になります。なぜ人は遊ばずにはいられないのでしょうか？遊ぶことの大切さを知ると、毎日により一層楽しくなると思います。		
	担当	准教授 宮寺 寛子 【専門】生活科学	形式	講義
O-10 リ	講義名	子どもに対する作業療法はどんな仕事？遊ぶことが仕事になる！？		
	目的	発達障害の特性がある子どもへの作業療法や、幼稚園や小学校の中で作業療法士が行っている支援について理解しましょう。		
	概要	子どもを対象に医療機関などで行なっている作業療法について紹介します。また、保育園や幼稚園・小学校で行う巡回相談や教諭との連携について、教諭の困りごとに対する作業療法の視点での相談や支援内容について紹介します。		
	担当	准教授 吉岡 和哉 【専門】発達領域の作業療法、特別支援教育	形式	講義、体験
O-11 リ	講義名	さまざまな生き物から見た生活世界を探ってみよう		
	目的	人間を含む生き物はそれぞれの生活世界を持っています。さまざまな生き物から見た世界を探ってみましょう。		
	概要	私たち人間も、立場や状況が違えばそれぞれ見える世界が異なります。さまざまな生活世界を知ることは、作業を使って人を支援する作業療法にとって大切な視点です。		
	担当	講師 岡田 直純 【専門】精神科作業療法	形式	講義

S-2 リ	講義名	人だけが、ことばを話し、料理をするのはなぜか？		
	目的	ことばを話すのも、料理をするのも人間だけなのはなぜ？その秘密を知ることが、ことばのリハビリテーションの入り口です。		
	概要	人間だけが、ことばを話し料理をします。他の動物にこれらができないのには理由があります。一方、その理由のせいで、人間はことばや食べることの障害がある場合があるのです。そして、残念ながらこれらの障害がある方々のリハビリテーションは、この理由をしっかりと理解して行わないと成果があがりません。体験を交えて一緒に考えましょう。		
	担当	教授 白坂 康俊 【専門】発声発語障害、摂食嚥下障害、言語学	形式	講義、体験
S-3 リ	講義名	失語症ってなに？		
	目的	言葉が失われるわけではなく、コミュニケーションが障害される失語症について学びましょう。		
	概要	脳の損傷によって生じる、コミュニケーションの「話す、聞いて理解する、読む、書く」の4つの側面が障害される失語症の言語症状について学び、失語症が認知症と違うことを理解しましょう。		
	担当	教授 神山 政恵 【専門】高次脳機能障害学、失語症学	形式	講義、体験
S-4 リ	講義名	コミュニケーションについて学ぼうー良い話し相手になるためにー		
	目的	”コミュニケーションはキャッチボール” 言語聴覚障害のリハビリテーションで大切なコミュニケーションの本質について学びます。		
	概要	聞こえや言葉に問題がなく、同じ日本語を話しているのに、言葉が通じないと思ったことはありませんか？より良いコミュニケーションのために大切なことを、体験を交えて一緒に考えてみましょう。		
	担当	准教授 丹下 弥生 【専門】失語症、発声発語障害、認知症	形式	講義、体験
S-5 リ	講義名	歳をとるとどうして、食べたり、飲んだりすることが大変になるの？		
	目的	飲み込みや食べることが難しくなる「摂食嚥下障害」について、疑似体験を通し理解しましょう。「摂食嚥下障害」によって起こる誤嚥性肺炎を防ぐ方法を身近な例を踏まえて紹介し、日常生活の中で考えていきます。		
	概要	食べ物が肺に入って炎症が起こる誤嚥性肺炎や、お餅などをのどに詰まらせ息が出来なくなって亡くなる方が、毎年大勢います。避けられない場合もありますが、ちょっとした知識や食べ方の工夫、予防の為に日常生活を知っておくことで、命を守り、いつまでも美味しく食べ続けることができます。誤嚥性肺炎防止の啓蒙と言語聴覚士の働きかけを紹介します。		
	担当	准教授 三浦 康子 【専門】摂食嚥下障害	形式	講義、体験、グループワーク
S-6 リ	講義名	耳が2つある理由って何だろう？		
	目的	難聴のある世界をご紹介しますながら、聴覚のもつ機能について考えていきます。		
	概要	なぜ耳は2つあるのでしょうか？耳が1つだけだとどうなるのでしょうか？耳が2つあることによる効果はさまざまあります。単に音を聞くだけではない耳の機能。難聴の世界を紐解きながら、耳が2つある理由、聴覚のもつ機能について考えてみたいと思います。		
	担当	講師 岡野 由実 【専門】言語聴覚療法、聴覚障害、聴覚心理学	形式	講義